

第4回 平群町地域公共交通会議議事要旨

日 時 平成22年12月24日（金） 10時00分～12時10分

場 所 平群町商工会館2階

出席者 17名

配付資料 資料－1：前回会議の議事要旨

資料－2：前回会議における質疑に対する対応表

資料－3：交通事業者ヒアリング結果

資料－4：平群町地域公共交通総合連携計画（案）

資料－5：事後評価（案）

○議事

・交通事業者ヒアリング結果報告

塩野委員 鉄道などのダイヤ変更結果については、どういう方法で情報を提供するのか。

岩崎委員 ダイヤ変更に関する情報提供方法については、連携計画で作成する予定のチラシや駅での掲示、HP等により変更情報を提供することになる。

下中議長 パソコン等を使わない人もいるので、だれもが簡単に情報を入手できる環境整備を考えてもらいたい。

辻本委員 電車が空いている時間帯に、利用料金の割引等の実施はできないか。

岩崎委員 割引料金等の導入に関しては、

①コストの発生（チケット発行、チケット確認のための人員配置）

②割引料金を実施しても利用者が増えない

以上2つが解決すべき課題であり、導入が難しい状況である。

村本委員 タクシー料金は奈良県で料金体系が決められているということだが、詳細を教えてください。

小泉委員 タクシー料金については、地域ごとの認可運賃となっており、奈良県では統一した料金設定となっている。

・平群町地域公共交通総合連携計画（案）について

森井委員 コミュニティバス運行計画の見直しにあたっては、学校の再編が具体化した時点で、バス運行計画に反映するのか。

もう1点、子育てタクシーに関して、今後学校関係の補助を子育てタクシーに切り換えるなどの対応を考えているのか。

事務局 学校の再編に関しては、具体化した時点でバスのダイヤを変更するなどの対応

を考えていく。

子育てタクシーに対する補助金等については、現時点では考えておらず、基本的に利用者が負担されるものと考えている。子育てタクシーの広報等については町として協力するつもりである。子育て支援対策の拡充については、今後の検討課題としたい。

村本委員 今回の連携計画の実施により、空白地域はどのくらいの割合でなくなるのか。また、連携計画は平成 23 年 4 月 1 日から開始するのか。また、経費負担についてお聞きしたい。

事 務 局 空白地域の割合については、数値を算出し、提示する。
経費負担に関しては、国の補助 1/2 が期待できない状況であるため、その他の補助金について模索しているが、町単費でもできる部分については実施したいと考えている。
町コミュニティバスについては、平成 23 年度 10 月末に南部ルート現在の運行許可が切れるため、遅くともそれまでには新運行計画を開始したい。

辻本委員 高齢者はあまりホームページ等を見ないため、誰に対しても情報が行き渡るような情報提供方法を考えてもらいたい。

事 務 局 平群町広報の活用を含め、町民全体に情報提供できる方法を検討する。

岩崎委員 移動手段を車から公共交通に転換してもらうことも必要であり、モビリティマネジメントの取り組みを含めて考える必要がある。

事 務 局 モビリティマネジメントの導入について検討する。

森井委員 バイパスルートの運行計画について、交互運行、バス 2 台による双方向運行を含め、検討してもらいたい。

事 務 局 バイパスルートの運行方法について、再度検討する。

下中議長 連携計画（案）については引き続き継続審議とする。

事 務 局 次回の公共交通会議においては、交通事業者や警察との協議も含めてより具体的なものを提示する。

・調査事業の事後評価（案）について

事 務 局 国土交通省に提出する様式で、調査事業に対する事後評価（案）を作成した。
→拍手により原案承認。

以 上